

ミニバスの始まり・・・その3

(5号：2010年8月21日)

昭和54年9月、山口県ミニバスケットボール連盟が誕生しました。これはミニバスケットボールに関わる人々全ての願いでした。私も設立を心から喜んだ記憶があります。

さっそく同年の年間行事計画も立てられました。

12月 指導者講習会	1月 県交歓会兼全国大会予選	3月 学年別交歓会
------------	----------------	-----------

また、同時に「ミニバス連盟報」を発行することにもなりました。第2号では山本理事長の「ミニバス連盟の結成に思う」という挨拶文が載っています。「バスケットボールの良さを味わわせるための推進役となっておられる指導者のみなさん」から始まる文章を少しだけ引用してみます。

「小学校の体育の教科に正課と位置付けられたこの時期にこのような連盟がつくられたことは誠に喜びにたえません。(中略) 私自身も学校とあまり関係のない者ですが、このミニバスを始めて10年になります。このトシになって、初めて『ああ、おれはえらそうに子どもから先生、先生と言われているが、本当は自分自身が一番勉強したいなあ』と思っています。毎週2回、年中一回も休まず、職場の残業も友人との一杯も不義理して、一文の給料もいただかず、自分のお金を出してジュースやアイスクリームを買ってやって・・・いや、逆にそれだからやれるのではないのでしょうか。その気持ちを持ち続けている私たち指導者の仲間もこのことが生きがいの一つにまで育ってまいりました。(略)

いろいろあると思いますが、くじけず、愚痴を言う前に練習に真剣に取り組み、すばらしいチームをつくろうではありませんか。その意欲が全てを解決してくれることを信じてやみません。」

ちなみに、この年の第9回県交歓会の結果も書いてみます。

参加チーム	女子1部10チーム(優勝 松崎ミニバス、準優勝 曾根ミニバス)
	女子2部14チーム(優勝 江の浦ミニバス、準優勝 見初ミニバス)
	男子の部6チーム(優勝 新南陽ファイターズ、準優勝 付属光)

1月6日に行われた大会の結果はTYSの夕方のニュースで放送されたり、読売新聞の「おはよう」欄に優勝チームのキャプテンの子が写真入りで紹介されたりと、たくさんのメディアでも取り上げられていました。それだけ珍しい活動だったのかなあとも思います。

この年の全国大会は山形県鶴岡市で開催されています。参加も大変だったでしょうが、当時は、全国持ち回りで開催されていました。近隣では、島根県や福岡県でも行われています。

30チームの参加で盛り上がった県交歓会が終わり、この年から県新人交歓会も2月に開催されるようになりました。

事務局からの「ミニバス報」も初年度6号まで発行することができました。その中のどれかに次のような呼びかけが書いてあります。「試合の前と後に握手をしましょう」この精神は今でも引き継がれていることを嬉しく思います。

さて、県のミニバス連盟ができてくると、次は中国ミニバス連盟になるのですが、連盟設立よりも中国大会開催と、実際のゲームが先に進んでいくようになります。第1回中国大会、そして中国ミニバス連盟設立については次回にゆずります。